



1本ずつ、先生の付けた印の処へ置きました



始めの挨拶「よろしくお願いします」



順番に、赤ちゃん苗を植え付けていきました



「赤ちゃん苗は、この紙の大きさだよね」



最後に、園長先生が、土寄せをしてくれました



「苗のどこに玉ねぎができるのかな？」



自分の鉢へ、名札を立て、目印にしました



苗は鉢の中ほどに立て、土寄せをしました



「パンジーの苗です。やさしく植えてね」



お世話の初めは、やっぱり、水やりです



周りに固形肥料を6個埋めてあげました



好きな色の苗を、自分で選びました

年中さんが、恒例の玉ねぎの栽培を始めました

十六日（水）、玉ねぎの苗を植えました。苗は、三十センチにも満たない弱々しいものですが、春には、急に伸び始め、五月の終わり頃には立派な玉ねぎとなります。園児達には、その過程を観察させ、「いのち」の輝きと、それを絶って私達が食べものにしていく現実を体験させます。食前食後の合掌の意味も理解させます。



第四百二十一号
発行所 安芸幼稚園
広島市南区比治山本町
責任者 園長 小野 修三
十二—六十

九日 年中さん達がパンジーを植えました
卒園する年長さん感謝の気持ちを届けるためや、新入園のお友達を歓迎するために、水やりなどのお世話をしつかりして、きれいな花を咲かせます。